

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公表番号】特表2008-547055(P2008-547055A)

【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518171(P2008-518171)

【国際特許分類】

G 02 B	26/10	(2006.01)
G 03 B	21/00	(2006.01)
G 09 G	3/34	(2006.01)
G 09 G	3/02	(2006.01)
H 04 N	5/74	(2006.01)

【F I】

G 02 B	26/10	1 0 4 Z
G 03 B	21/00	Z
G 09 G	3/34	D
G 09 G	3/02	A
G 02 B	26/10	C
H 04 N	5/74	H

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投影された画像における画像の歪みを減少させるための装置であって、

光のビームを生成する光源と、

一対の振動可能な走査ミラーと、

投影面において走査線のラスターパターンを形成するために、互いに直交する軸の周りで該走査ミラーを振動させるためのドライブアセンブリであって、各走査線は多数の画素を有し、該ドライブアセンブリは、供給ライン周波数によって起動され、かつ実質的に一定のドライブ速度で該軸のうちの1つの周りを一円周方向に、該走査ミラーのうちの1つを動かすためのドライブ周波数で動作可能なドライブを含み、該1つの走査ミラーは、該ドライブ速度よりも大きい戻り速度で該1つの軸の周りを反対の円周方向に共振周波数で戻ることが可能である、ドライブアセンブリと、

該投影面に該画像を形成するために、該レーザビームによって、該走査線において選択された画素を照明して、視認可能なようにさせるためのコントローラと、

該共振周波数と該ドライブ周波数と、該供給ライン周波数との間の電気的干渉を減少させ、画像の歪みに影響されないようにするために、該ドライブ周波数および該供給ライン周波数に関して調和しないように該共振周波数を調節する手段と

を備えている、装置。

【請求項2】

前記光源は、前記光のビームとしてレーザビームを発するレーザである、請求項1に記載の装置。

